

精神保健福祉の原理

問題 19 次の記述のうち、障害者福祉を支える理念や概念の説明として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ソーシャルロールバロリゼーション(SRV)とは、人間らしく生きる権利の回復を目指すことである。
- 2 リハビリテーションとは、人権擁護と公衆衛生の観点から健康・社会・経済上の悪影響を減少させることを主目的とするものである。
- 3 バリアフリーとは、重大な逆境に遭遇したにもかかわらず、前向きに生きていこうとする復元力のことである。
- 4 エンパワメントとは、無力化された人々が本来持っている力を取り戻し、抑圧的な状況を客観的に批判し主体的な変革を目指すことである。
- 5 レジリエンス(resilience)とは、障害や疾患をもつ人というラベルによって生じる社会的不利を軽減することである。

問題 20 次のうち、精神科病院での職員による入院患者への暴行等の重大な不祥事件を契機に、任意入院制度を創設した法律として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 精神衛生法
- 2 精神病患者監護法
- 3 精神病院法
- 4 精神保健法
- 5 「精神保健福祉法」

(注) 「精神保健福祉法」とは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」のことである。

問題 21 A高等学校では、保健体育の授業において、心の健康への意識を高め、共生社会への理解を深めることを目的として「こころの健康教育」を実施している。今回は近隣にあるB精神科病院のC精神保健福祉士と、精神障害当事者のDさん(63歳、男性)がゲストスピーカーとして招かれた。授業はC精神保健福祉士とDさんの対話形式で進められた。その中で、Dさんは精神科病院における35年の入院生活やグループホームへの退院、今の生活の様子を語った。Dさんからは、長年病院内で変化のない集団生活を続けたことで気力が失われ、退院を諦めるようになったこと。入院当初は強い思いであった退院を決断するのに長い時間を要したこと。退院した今は、地域に出て良かったと実感するといった気持ちが語られた。

次のうち、Dさんの語りから考えられる入院中の状態として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 施設症
- 2 施設コンフリクト
- 3 トラウマ
- 4 ステイグマ
- 5 回転ドア現象

問題 22 次の記述のうち、「精神保健福祉法」に定められている精神障害者の家族の権利・義務として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 精神障害者に医療を受けさせるに当たって、医師の指示に従う。
- 2 精神障害者が自身を傷つけ又は他人に害を及ぼさないように監督する。
- 3 精神障害者の財産上の利益を保護する。
- 4 都道府県知事に退院請求の申立てができる。
- 5 回復した措置入院者等を引き取る。

問題 23 次の記述のうち、精神保健福祉士法成立の社会的背景として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 年間自殺者が3万人を超え続け、国民のメンタルヘルスが社会問題化した。
- 2 頻発する自然災害に対し、災害派遣精神医療チーム(DPAT)の必要性が高まった。
- 3 諸外国と比べて精神科の入院医療を受けている者の割合が高く、入院期間も長期にわたっていた。
- 4 「障害者権利条約」を批准するため、国内法の整備が急がれた。
- 5 「精神保健医療福祉の改革ビジョン」において、「入院医療中心から地域生活中心へ」が示された。

(注) 「障害者権利条約」とは、「障害者の権利に関する条約」のことである。

問題 24 次の記述のうち、精神保健福祉士法に規定される精神保健福祉士の義務として、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 保健医療サービス、障害福祉サービス等の提供者と連携を保つ。
- 2 担当する利用者の立場に立って誠実に業務を行う。
- 3 資質向上のため、厚生労働省令で定める研修を受講する。
- 4 職を辞した後の秘密保持義務は、10年で解除される。
- 5 業務を行うに当たっては、主治医の指示を受ける。

(精神保健福祉の原理・事例問題)

次の事例を読んで、問題 25 から問題 27 までについて答えなさい。

[事 例]

会社を定年退職した A さん(60 代後半)は、昨年妻を事故で亡くし、一人息子(30 代)と二人で暮らしている。息子は仕事でのトラブル等が重なり、自宅にひきこもって 3 年になる。A さんは息子を一度強く叱責し拒絶されてからは話し掛けることもできなくなり、息子を心配しながら一人で家事を担い、日々を過ごしていた。最近 A さんは生活の中で年齢を感じるが増え、自分に何かあったら息子はどうなるだろうとの思いから、県のホームページで見付けたひきこもり地域支援センター(以下「センター」という。)に電話をかけた。息子とうまく関係を築けず拒絶されているように感じること、3 年もひきこもっている息子の将来についての心配などを A さんはしっかりした口調で話した。電話を受けた B 精神保健福祉士はその話を傾聴し、A さんをねぎらい、センターとして関わりたいことを伝え、情報を整理した。(問題 25)

センターの対応に安堵した A さんは、^{あんど} B 精神保健福祉士とであれば息子のことについて進展を得られるように感じ、時折センターに出向くようになった。そのうち A さんは、いつまでこの状態が続くのか、自分の息子だけなぜこうなのかなど、悩みを具体的に語るようになった。そこで B 精神保健福祉士は、センターで行われている「ひきこもり家族の会」(以下「家族会」という。)への参加を A さんに勧めた。(問題 26)

家族会に参加した A さんは、そこでの学びからセンターに行った感想を添えたメッセージや「名刺の人が話をしてみたいそうだ」と B 精神保健福祉士の名刺を添えたセンターのチラシを台所のテーブルに置くようになった。息子はそれらを夜中に台所で読んでいるようだった。

ある日、B 精神保健福祉士のところに電話がかかってきた。B 精神保健福祉士は、その名前から A さんの息子からであることに気付いた。A さんの息子は、仕事も続かず、職場でも家でも誰ともうまくやれないこと、学生時代もそうだったことなどを語った。(問題 27)

問題 25 次のうち、この電話相談において**B**精神保健福祉士が優先的に評価すべきこととして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 息子の精神的健康
- 2 息子の就労能力
- 3 現在の経済状況
- 4 **A**さんの家事負担
- 5 **A**さんの現在の発達課題

問題 26 次の記述のうち、この時点で**B**精神保健福祉士が**A**さんに参加を勧めた理由として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 体験を共有する場を提供するため。
- 2 グリーフケアのため。
- 3 若者支援の社会活動に参加してもらうため。
- 4 コミュニケーション能力を高めるため。
- 5 家族会のファシリテーターになってもらうため。

問題 27 次の記述のうち、この段階で**B**精神保健福祉士が考えた関わりの内容として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ひきこもり対応として、外出する場面を設定する。
- 2 社会的な役割を得るために、当事者の会の立ち上げを促す。
- 3 就労支援を始めるために、職業評価を受けるよう提案する。
- 4 父親に自分の気持ちを伝えるために、社会生活技能訓練(SST)を行う。
- 5 支援者として関係を築くために、無知の姿勢をとる。